

売薬と薩摩

！ ～唐薬種を手に入れろ！～

《講師 加藤 達行 氏》

《講師自己紹介プロフィール》

昭和29年 富山県中新川郡上市町生まれ、
昭和57年 青山学院大学文学部文学研究科修士課程修了
同年 富山市教育委員会社会教育課、
昭和59年～ 富山市郷土博物館学芸員
平成8年～ 富山市教育委員会生涯学習課係長（主に文化財を担当）
平成20年～ 郷土博物館館長。
平成25年～ 市立図書館長
平成27年 （公財）富山市民文化事業団（現在、事務局長）

博物館では、「富山藩の文化と産業」「富山城の歴史」展などの郷土史関係や「川を渡る」「はこぶ」展などの文化に関する展覧会、さらには、近代絵画の巨匠シリーズ、絵本原画、「岸駒」展など美術関係まで多様な企画に携わってきました。

はじめる前に

民俗民芸村と売薬

はじめに

江戸時代後期の売薬と薩摩の関係を昆布と抜荷をキーワードに考えます。

第1章 唐薬種流通の実態

反魂丹の成分

反魂丹には唐薬種（輸入薬種）が不可欠

江戸時代は鎖国？⇒海禁政策

四口の存在

唐薬種の流通

長崎→大阪→全国へ

第2章 日本海を舞台にした抜荷事件

新潟を舞台にした二つの抜荷事件

摩藩が新潟を舞台に抜荷貿易をおこなっていた！

「北越秘説」が描く抜荷世界

新潟湊の抜荷売買の概要

第3章 薩摩藩の動向

薩摩藩島津家の内情と徳川幕府

薩摩藩の財政再建

財政破たん→琉球貿易で再建

琉球貿易と昆布

昆布を琉球から輸出

昆布は北海道から調達

長者丸一件

函館から出港し、三陸沖で遭難

積み荷は「昆布」

第4章 富山売薬薩摩組の動向

薩摩組の動向

度重なる「差止」との戦い

「北越秘説」に出てくる富山

売薬商人が密貿易？

献上昆布

薩摩組は昆布1万斤の献上を約束

昆布を運んだ北前船「神速丸」

薩摩で昆布を売り、唐薬種を購入する。

富山売薬を考える

最後に まとめ